

会ホームページ参照」というメールを配信する方法もありうるので、状況に応じて考慮すると良い。

用語…委員長の人選を行っている。学会ホームページで公開して会員の意見を募るためのアンケートを準備中である。

- 次のようなコメントがあった。用語集の目的をはっきりさせること、今期2年間で行うことを決めることが必要である。また、用語のリストを案として学会ホームページで公開すると、決定版として使われる恐れがあるので注意が必要である。一旦完成しても、毎年更新が必要ではないか。

環境…シンポジウムの報告をきちんと行いたい。「天気」への報告のほかに、出版物の発行も検討している。

5. 会員の新規加入等について

新入会員17名を承認、退会6名。7月16日現在、会員数4,566名(内、通常会員4,019名)。

6. 理事の担当業務について

- 第32期第1回理事会では名誉会員担当理事を設けなかった。しかし、今期で選ぶかどうかを決めること、外国人を名誉会員にするかどうかの議論を行うことを目的として、担当理事をおくことにした。主担当山内理事、副担当藤吉理事とする。
- 講演企画副担当の津田理事に合同学会対応をお願いする。

7. 「山本・正野論文賞」, 「堀内賞」, 「奨励賞」投票結果について

理事全員の投票により、次のように決定した。

• 山本・正野論文賞

竹村俊彦会員(九州大学応用力学研究所),
高谷康太郎会員(地球フロンティア研究システム)

• 堀内賞

河村公隆会員(北海道大学低温科学研究所),
林田佐智子会員(奈良女子大学)

• 奨励賞

大沼啓人会員(岐阜地方気象台),
上口弘晃会員(新潟地方気象台),
平松和彦会員(北海道旭川西高等学校),
森岩 聡会員(名古屋地方気象台)

8. 秋季大会における理事長挨拶について

期が改まったことに伴う挨拶は天気7月号に掲載する。秋季大会では学術講演を行い、要旨を天気1月号に掲載することにした。

9. 第32期評議員会の方針について

第32期評議員会の方針・性格についていくつかの案が提案され、議論された。

10. 学会入会パンフレットの作成について

第32期第1回理事会での平木理事の提案に基づき、パンフレットの作成を検討することとした。

11. 会計処理ソフト購入について

学会事務局で会計処理ソフトを購入することが了承された。

12. IUGG2003準備状況報告

ほとんどのシンポジウムは来年の1月に講演申し込み締め切りである。募金依頼パンフレットが作成された。企業に募金をお願いするほかに、個人献金に頼らざるを得ない状況である。気象学会員の理解を求めたい。

ご寄付のお知らせ

2002年6月10日に亡くなられた関口理郎理事夫人の関口洋子様から、日本気象学会に10万円の寄付がございました。気象学会ではこれを受け入れ、故人の活動を考慮して「国際学術交流基金」の一部に組み入れさ

せていただくことに致しました。

ここに、その旨を会員の皆様にご報告いたし、改めて、関口会員のご冥福をお祈り申し上げます。